

SPAC俳優と川根本町レジデントアーティスト、町民の共演による朗読音楽劇

SPAC出張劇場 『かしわばやしの夜』

朗読と和太鼓が織りなす、“心”に沁みる“身体”に響く、宮沢賢治の童話の世界

平素より、SPAC・静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACは来たる12月12日(土)、川根本町文化会館で朗読音楽劇『かしわばやしの夜』を上演します。

ある日暮れ時、木こりの清作は不思議な画かきに連れられて林の中に入っていきます。そこでは月明かりの中、かしわの木たちによる歌合戦が始まって…。诗情あふれる言葉、かしわの木たちの素朴でおかしな歌の数々…宮沢賢治作品の魅力が詰まった幻想的な童話を、“語りのプロ”であるSPAC俳優陣による朗読、川根本町レジデントアーティストである和楽器奏者・神谷俊一郎と地元で長年活動する赤石太鼓保存会による和太鼓の演奏でつむぎます。

大自然に囲まれたここ川根本町でしか創れない、そしてここでしか観られない舞台に、ご注目ください。

SPAC出張劇場 朗読音楽劇

『かしわばやしの夜』

作：宮沢賢治 演出：中野真希 音楽：神谷俊一郎

出演：SPAC／泉陽二、鈴木真理子、館野百代、吉見亮 [五十音順]

演奏：神谷俊一郎、赤石太鼓保存会

◆公演日：12月12日(土) 14:00開演(13:30開場)

◆会場：川根本町文化会館 ホール

◆定員：100名(先着順)

◆入場料：大人1,000円／高校生以下500円 ※小学生以上対象

申し込み・問い合わせ…川根本町文化会館 TEL.0547-59-3106 <https://www.facebook.com/kawahon.bunka/>

主催：川根本町文化会館 企画・製作：SPAC・静岡県舞台芸術センター、(株)シアターワークショップ

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

稽古：12/1(火)・3(木)・4(金)・7(月)・10(木)・11(金)

※12/3(木)16:00～18:00 神谷氏とSPAC俳優の稽古、19:00～全体稽古を行います。[場所：川根本町伝統文化継承館]

※12/11(金)19:00～リハーサル、12(土)午前ゲネプロを予定。[場所：川根本町文化会館 ホール]

コロナ禍における市民との共同創作の現場を是非ご取材ください。上記以外は舞台芸術公園にてSPAC俳優のみの稽古。

プロフィール



演出：中野真希(なかの・まさき)

1991年劇団「ク・ナウカ」に入団、俳優活動とともに新人公演の演出を手掛ける。2006年よりSPACに在籍し、『王女メデア』、『マハーバーラタ』などに出演。宮城聡(SPAC芸術総監督)の演出補を務めながら、07年より中高生のための演劇学校「SPACシアタースクール」を主導。主な演出作に『東海道四谷怪談』、『モモ』、『巷談宵宮雨』など。



音楽・演奏：神谷俊一郎(かみや・しゅんいちろう)

愛知県出身。和太鼓をはじめ和の文化に携わる人たちの交流の場「まといの会」主宰。「Drum TAO」の舞台を経験したのち、新潟県佐渡島に拠点を置く「太鼓芸能集団鼓童」に所属。メンバーとして演奏活動を行う。現在は、愛知県を拠点に和太鼓、篠笛を始めとする和楽器演奏、民俗舞踊等の表現活動に加え、作曲、楽曲提供や舞台演出、教育機関などへのワークショップ活動にも力を注ぐ。

SPAC出張劇場 朗読音楽劇『かしわばやしの夜』に関するお問い合わせや取材のご希望は、
「SPAC・静岡県舞台芸術センター 広報担当 内田」までご連絡下さい。
Tel:054-208-4008(舞台芸術公園) / Fax:054-203-5732 / E-mail:uchida@spac.or.jp